



臨床研修医募集案内

# IWAI HOSPITAL

Iwate Prefectural Iwai Hospital

2026

Junior Resident Recruit Guide



# 岩手県立磐井病院へようこそ！

## 一緒に活気ある病院を作りましょう



皆さん、医学部のお勉強、ご苦労様です。

岩手県立磐井病院は、岩手県一関市にある中核総合病院です。一関市って何處？と思う学生さんもいると思います。

私も当院に来るまで知りませんでした。一関市は岩手の最南、宮城県との県境にある人口約11万人の市です。北には世界遺産中尊寺のある平泉町があります。

2003年、移転前旧病院にての話ですが、深夜、中央廊下を野生の熊が走ったという事件があり、全国ニュースになりました。一関市ってそんなにド田舎なの？と思うかもしれません。そんなに田舎じゃありません。飲食店もたくさんある。それなりの街です。なにより、来てから分かりましたが、どこに行くにもアクセスが良い。新幹線の駅はもちろん、仙台まで車で1時間、盛岡も1時間、太平洋まで1時間、日本海には1時間半、スキー場は大体1時間、外國に行きたい人は仙台空港まで1時間。そして、自然豊かで、大家住みやすい。熊も住みやすいようです。

さて、その磐井病院での研修ですが、主要診療科はほとんど網羅されており、経験豊かな上級医とともに充実した現場医療を学べます。当院は基本的にOJT：On the Job Trainingを中心としており、初期研修医と言えど、後ろで見学ということはほとんどありません。医師の一人として患者に相対してもらい、早期から実際の診療、処置をやってもらいます。「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ。……」とは山本五十六が残した格言ですが、当院の研修そのものです。したがって、学生時代の机上の勉強とは違う、実際に手足を動かす生活を送ってもらうことになるでしょう。最終的には、「初期研修2年修了時には救急外来を一人で仕切る」ことを目標に研鑽を積んでいただいている。

また、岩手には当院も所属するイーハトーヴ臨床研修病院群というものがあり、たすきがけ研修といって、特定の科で他の病院を回り、経験を広めることも可能です。他院の先生からも教わることができるのであります。いろんな先生と交流することは、確実に研修医の実力をあげると思います。

さらに、研修医の楽しみの一つとして学会参加があります。どうせ参加するならば発表した方が専門医のクレジットもたまって一石二鳥です。当院は指導力ある上級医のもと、最低年1回は発表を、できれば全国学会での発表を必須としており、一生懸命勉強し、遠方の街で学会発表し、美味しいものを食してくることは、研修のひとつの醍醐味です。学会発表や論文執筆のための資料入手も、病院で「医学中央雑誌」「医中誌DDS」「Medical on line」と契約しており、日本語論文はただでダウンロード可能で、洋雑誌論文についても県のライブラリーから容易に入手できます。ぜひ、我々と一緒に学会に行きましょう。

他にも伝えたいことは沢山ありますが、当院に見学に来て、研修医の先生の話を聞いてください。そして、将来、我々とともに、活気ある磐井病院を構成する一人となっていただければ幸いです。



### 【理念】地域と連動し、患者さん中心の、質の高い、安全な医療を提供します

#### <診療基本方針>

- 1 患者の安全性を最優先とした医療を行います。
- 2 患者の心理的安全性に配慮して医療を行います。
- 3 十分な説明を行い、同意に沿った医療を提供します。
- 4 他職種が協働し、最新で専門性の高い医療を目指します。
- 5 地域の施設と連動し、患者さんの診療・生活をサポートします。
- 6 最新技術を駆使して、利便性の良い医療を目指します。

#### <職員職務基本方針>

- 1 職員各個が医療人たる自覚をもって、患者診療にあたります。
- 2 患者の苦悩の本質を感じることのできる感受性豊かな医療人となります。
- 3 豊かな人間性と優れた専門知識を持った医療人を共育します。
- 4 コミュニケーションを取りやすい職場創りに努めます。
- 5 同僚の業務上の困難、苦境にあっては、積極的にこれを援助します。
- 6 勤き方改革を全職種に均等に、健康で明るい職場創りをします。
- 7 各個が経営的視点を持ち、持続可能な病院運営に取り組みます。
- 8 診療データを重視し、医療を流動的に改善していきます。

病院長

阿部 隆之  
ABE TAKAYUKI





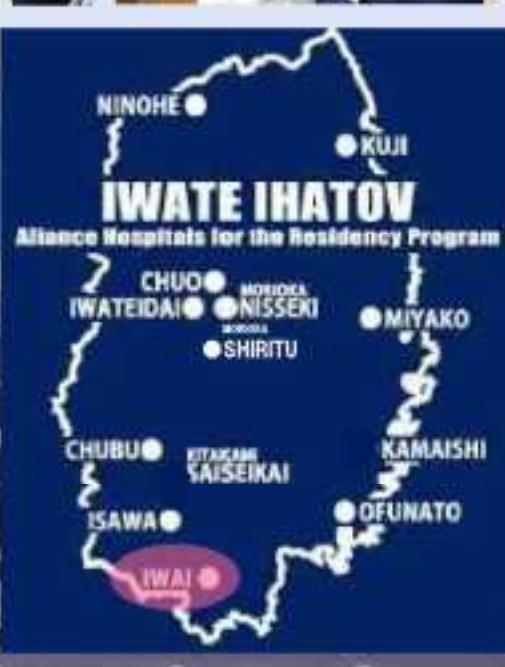
## 2024年1月～12月 病院概要

○常勤医師数(歯科医師・研修医除く)	63名
○入院ベッド数	315床
○1日平均外来患者数	486.5名
○1日平均入院患者数	234.9名
○年間救急外来患者数	10,946名
○年間救急車搬入件数	3,475件
○年間分娩件数	461件



## 診療科

救急科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、  
小児・新生児科、外科、産婦人科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、  
泌尿器科、形成外科、画像診断科、放射線科、耳鼻いんこう科、  
緩和医療科、眼科、皮膚科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、  
総合診療科



# 岩手県立磐井病院 臨床研修の目標

1. On the job trainingで多数の実経験を積む
2. プライマリケアに必要な臨床手技のすべてを修得する
3. 知識や技能だけでなく、医師としての人間性も磨く

## 救急に強くなる

初期研修2年間で  
1人約2,000例の急患を診る

救急科を始めとし各分野の専門家がいる当院は、岩手県南部から宮城県北まで15万人の医療圏をカバーする。『断らない救急』を掲げ救急車受け入れは年間約3,000件以上。初期研修1年目から最前線で急患対応に当たり数多い実践を数多い実践を積むことで、必要な知識・技術を習得することができる。

多数の実経験が積める  
どの分野の急患が来ても  
対応できる自信がつく！

総合病院である当院では、24時間全科の急患に対応する。初期研修医も日当直だけでなく、全科の当番に加わるため、虫垂炎や消化管穿孔などの外科分野、脳梗塞やAMIなどの内科分野、重症交通外傷や先天性心疾患などの実経験が積める。ありとあらゆるドラマが毎日起こる現場の雰囲気は、実際に研修をしてみないとわからない。



## 目標に自然と近づく カリキュラム



総合病院だからこそ  
選択肢の幅が広がる  
マイナー科の充実に自信

緩和医療科や精神科単科の南光病院が隣接するなど、専門分野決定の幅を広げてくれる内科・外科以外の科が充実。形成外科では、救急外来で役立つ縫合の基礎から熱傷の処置まで丁寧な指導を受けられる。さらに、放射線科の常勤医もおり、画像診断で困った時に研修医がふらっと相談に行っても、マンツーマンで細かいところまで教えてくれる。

症例数と手技の多さで  
最短距離で専門医取得  
研修医の半数が後期も残留

救急科、外科、整形外科、消化器内科、循環器内科、泌尿器科、形成外科、脳神経内科、整形外科、緩和医療科の専門医取得が可能な指定施設となっている。後期研修に進むと、例えば外科では、研修医の執刀数は東北で随一を誇り、最短での専門医取得が可能となる。他科でも当院での経験年数がカウントでき、症例数や種類に関しても専門医を取得するにあたり十分な件数が稼げる。



## 救急科から研修開始

実戦練習を積み実習室での基本を指導

救急対応ができる医師を目指し症例が多い醫大病院を選びました。とにかく実践を経験したくてあえて最初から救急科を選択。初日から救急車が続けて3台入ってきてドキドキしながら鼠径部からの採血やラインの確保などを指導してもらしながら実践したのを覚えています。2か月目からは当直研修が加わり、急诊室での問診や診察、瞬時の判断能力など2年目の先生にサポートしてもらいつつながら、身につけ自信をつけていきました。(A)

## On the Job Training

即戦力として病院を支える

当院の初期研修では、内視鏡や心カテーテルの造影、手術の執刀(1年次手技に関しては1年次ではヘルニア・虫垂炎、2年次では腹腔鏡下胆囊摘出手術も)挿管(麻酔科2ヶ月の研修で100件以上)、胸腔穿刺・ドレナージなど、指導医が側についた状態でどんどん経験させてくれます。言葉ではなかなか伝わらないことが多いので、実際に見学に来て、研修医がどんな風に働いているのかみてください！(H)

## 研修医の声

### 形成外科研修を終えて 救急外来での創傷処置に自信

僕は1ヶ月形成外科をローテートしました。一番良かったと感じるのは、救急外来での創傷処置に自信が持てるようになったことです。「縫合が必要ですか」「縫合の糸はどれになりますか」「洗浄は何で、どのくらいしないとダメですか」「抗菌薬はどうしますか？破傷風は何をしますか」「縫合するならどうしますか」「麻酔はどうしますか？指ブロック？局所？どこに？」日常的に看護師さんから聞かれる質問にも自信を持って答えられるようになりました。(S)

自由選択で人気の  
画像診断科  
照山先生と研修医



やつぱり  
知りたい

# 研修を支えるイロイロ

当直研修、定期勉強会、各種急講習会など  
診療科研修以外のいろいろ教えます！



## 岩手県臨床研修病院群合同オリエンテーション

1年次の4月、全国的にも珍しい岩手県内の1年次研修医が全員集まる  
1泊2日の合同オリエンテーションが安比高原で行われます。  
70人以上の同期が集まる貴重なイベント。「楽しい！」の一言に尽きます。



林先生の救急研修に関する講義



講師の先生方



ワークショップ



Bad News Tellingに関する  
ロールプレイ

## 待遇

### 研修手当

月額基本給	当直4回、超過勤務20時間で積算
1年次 345,000円	443,000円程度/月額見込
2年次 395,000円	541,000円程度/月額見込

### 勤務時間

平日8時30分～17時15分  
ローテ科により、  
オンコール当番あり

### 休暇

土・日・祝日、夏期休暇5日間、年末年始  
年次有休1年次10日間、2年次11日間  
病気休暇、特別有休(結婚、忌服等)、産休

### 当直手当 (1回あたり)

1年次: 10,500円、2年次: 21,000円



岩手県立病院  
医師の手当手帳

### 賞与 (令和6年度実績年額)

1年次 1,000,000円程度 : 2,899ヶ月分(夏0.669ヶ月、冬2.23ヶ月)  
2年次 1,760,000円程度 : 4.46ヶ月分(夏2.23ヶ月、冬2.23ヶ月)

### 社会保険等

健康保険(2年次: 地方職員共済組合)  
厚生年金、労災保険、雇用保険、  
医師賠償責任保険団体加入(個人保険の  
加入は任意) 等

## 研修会

### ●急患診療勉強会

1回次の月から始まる当直研修に向けて、各診療科による急患診療の講義。全ての診療科が心急患対応の最重要ポイントを伝授してもらう。



### ●救急症例検討会

毎日で経験した典型的や興味を惹く症例などを、研修医が持ち回りでプレゼンテーションする。



### ●研修医セミナー

自己やICUによる講義。新卒医で3人しかいない「高知県精神医学専門医検査技師」という資格を持つ高橋洋子さん、「高野川病院理事長」細谷謙次氏（現大崎市立病院看護部次長）加藤博美先生より、グラム染色で菌斑菌を培養なしで判別する方法など多岐におかれます。



### ●救急エコーセミナー

救急で役立つポイント講義からハンズオンまで、ショックの原因究明に有効なエコー評価をしっかりと身につける。



## 各種講習会

### ●BLS、ACLS、PTLS、ISLSなど 救急診療に関わる各種講習会

練習用入院の呼吸の心拍数等の状態をPCで操作し、さまざまな場面を作成。



### ●須賀川スキルラボ

次年度の外科後期研修医希望者などが、ブクを挙げて腹部鏡手術練習を行う。



### ●緩和ケア研修会

緩和解剖のある当院では、自宅で緩和医療に関する様々な資格を取得できる。



### ●新生児蘇生法専門コース講習会

岩手県立病院唯一の新生児科を有し、院内で専門コースの講習会を受講できる。



## 当直

週1回程度を予定。

### 【研修1年目】

当直医の下で

17時15分から22時00分まで副当直

※秋頃から正當直開始

### 【研修2年目】

当直医の下で

17時15分から翌8時30分まで

※翌日午後は休み

また、土・日・祝日の日中に、日当直医の下で  
8時30分から17時15分まで行うこともある。

## 宿舎

病院より徒歩約3分 2K

月額 13,320円（公舎料8,320円+共益費5,000円）

※既婚者には別途考慮

※共益費に水道料含む



画面で読みモチック

## その他

医局内個人専用机、研修医専用休憩室、当直室、女性医師室、女性医師専用当直室、職員専用ラウンジ、医局親睦会

個人予算(年間12万円)

※学会・研究会・講習会への参加費・旅費支給、図書購入可

運動部(野球、マラソン、バレー、テニス、フットサル、水泳、自転車、卓球、スキー、等)

文化部(畑、オーケストラ、カラオケ、釣り、等)

# RESIDENT MESSAGE

“いわい研修”の実際について

自由度が高い当院の研修プログラムでは  
どんな研修にしていくのか。  
研修医より、医学生の皆さんへメッセージ！

## 基本ローテート

当院のプログラムにおいて、研修医に必要な期間を理解しやすく示したもの

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
1年次	オリエンテーション	<b>内科</b> (消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科)				救急	麻酔	外科	<b>自由選択</b>											
	2週	24週				4週	4週	8週	10週											
2年次	<b>一般外来</b>		並行研修等により、内科・小児科・地域医療・総合診療科の研修の中で、2年間で4週(通常20日)以上					<b>救急部門</b> (ブロック研修 救急科 + 麻酔科 + 月4回程度の日当直を換算。)												
	地域	精神	小児	産婦	<b>自由選択</b> (イーハトーブ臨床研修病院群の他病院選択可能※最長12週)		36週		<b>自由選択</b> (イーハトーブ臨床研修病院群の他病院選択可能※最長12週)											
※GW、年末年始の連休期間等、5週となる場合がある。																				
■イーハトーブ臨床研修病院群たすきがけ制度：自由選択期間には、岩手県内11の基幹病院での研修も可可能です。(最長12週) より専門的な研修や特異な症例を体験できる機会を増やし、個々の希望に沿ったキャリア形成を応援しています。																				

※GW、年末年始の連休期間等、5週となる場合がある。

■イーハトーブ臨床研修病院群たすきがけ制度：自由選択期間には、岩手県内11の基幹病院での研修も可可能です。(最長12週)  
より専門的な研修や特異な症例を体験できる機会を増やし、個々の希望に沿ったキャリア形成を応援しています。

## 01 井上 かんな

INOUE KANNNA



計16診療科  
を経験！

聖マリアンナ医科大学卒  
2007年3月 臨床研修修了  
2007年4月～ 外科専攻医  
(北里大学附属病院)

### 【磐井病院を選んだ理由】

私は循環研修2年間の過ごし方で医師人生が決まると考えていました。そのため研修医から沢山の手技や手術を経験したいと思い、磐井病院を選択しました。学生時代より消化器外科を志望しており、循環研修2年間は手技を沢山経験したいと考えていました。先輩の熱意で指導を頼り、治すに躊躇せられることなく手術を行いました。磐井病院では研修医が執刀し、救急外来を経験するなど、研修医が主体となって医療を行っており大変驚きました。当院を忠告しました。

実際に研修してみて中心静脈カテーテル留置などの手技はもちろん、外科ローテでは計1件の執刀(乳癌、直腸ヘルニア、直腸癌など)を、内科学ローテでは新規の診察、内視鏡検査、治療方針を立てることまで自分で行いました。自分で色々とチャレンジできる環境のため、知らず知らずのうちに実力がついてきていると感じます。

### 【研修修了して】

1年次4~5月は何もわからない、経験すらもできない状態で、毎日悩んでいました。ですが、上級医やコメディカルより指導を受けながら沢山の患者さんを診療することで、だんだんとできることも増えています。当直では救急車も車いすも研修医がファーストタッチを行います。各科へのコンサルトまで行います。自分で考えて診断にあたり、それに対して上級医やコメディカルよりフィードバックもいただけます。自分の成長を感じやすくなる気も出ています。1年目から検査や手術の術者、救急医の仕切りなど主従になって医療に携わるため、患者さんと関わる機会も多くやりがいを感じます。また学生会参加も盛んで、1年目の8月には自分で発表も行いました。研修開始時は想像できなかった姿に成長していると感じており、経験の大切さを実感しております。2年間主従的に患者の診療に囲まれ、手術執刀28症例、内視鏡検査、当直救急業務、外来、学会発表など書き切れないので経験をさせていただきました。今までの経験は患者を目の前にして何も行動を起こせないという状態はないと思います。はじめは抵抗するまでずつ慣れていくのが苦しかったが、上級医や病院スタッフの皆様がたたかく指導してくださいましたので乗り越えることができました。修了後は北里大学外科で臨期研修を行いますが、当院での経験は必ずアドバンantageになると思います。

### 【思い出深いこと】

2年次の9月に国際医療学生会で発表したことが印象に残っています。研修医でこのような機会がいただけると思っていなかったので大変驚きましたが、世界中の外科医と関わることができたのは貴重な体験でした。このように色々とチャレンジさせていただける自由な研修環境が磐井病院にはあります。

【趣味】 桜花、日本酒

【特技】 コントラバス演奏、スキー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	カリ	<b>循環器内科</b>				循環器内科	救急科	外科	<b>消化器内科</b>			
2年次	小児	精神科	地域	産婦人科	呼吸器内科	循環器内科	精神科	外科	泌尿器科	循環器内科	産婦人科	小児

### 【医師を目指したきっかけ、磐井病院で研修してみて】

医師を目指したきっかけは高校生の時でした。認知症に関する研究に興味があり、深く学びたいと考える様になりました。大学4年間と研修2年間を経て、修了後は外科で後期研修を行います。このように、実際に医療を学び、経験することで当初の志望が変化する事があることを身を持って学びました。

磐井病院を志望したのは、生まれ育った地元である他、指導熱心で親身になって頂ける上級医の存在があったからです。病院見学では、屋根瓦式の施設体制で、数々の診療手技や経験を積み第一線で勤務されている先輩の方の姿を見て、自分もこうなりたいと思い意識を高めました。

### 【思い出深いこと】

一年目の5月、気胸患者さんに対して初めて胸腔ドレーンを留置する状況が訪れます。当時の私は、毎日が新しいことの連続で、疲労を言い切る手技を指導されても復習することなく過ごしていました。いま振り返ると、指導者の存在ありきの思考になり、主体性が欠けていたと反省しています。その日の手技の丁寧な説明の元で覚えるものだらうたかをくつっていました。「さあ挿れてみよう。自分でできるところまでやってみよ。」とお言葉をいただきました。三輪車で走っていた人間が突然、補助輪を外された様な感覚になりました。往診の前で酸素飽和度が低下し無意識を訴えている患者を、前に手と頭が止まってしまった状況を覚えていました。

医師的で日々の上級医の手技見学も、次に自分が行うつもりで見学できていませんでした。見学や講義、シミュレーションといった形式のレクチャーは失敗しても懲りの復習にならないため経験されがちですが、いざ自分が術者となったら何の想像を巡らせていくかでより有意味になると学びました。

当直で研修を行うと多くの手技経験機会に恵まれます。それらをただこなしていくのではなく、一つ一つを自分の力にしていくためには、日々の確かな予習・復習と生体力が大事であると認識した一例でした。

## 02 太田 樹

OTA TATSUKI

東北大学生  
2006年3月 臨床研修修了  
2006年4月～外科専攻医  
(大崎市民病院)



計12診療科  
を経験！

### 【趣味・特技】

バスケットボール、  
スポーツ競技

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	カリ	救急科	循環器内科	消化器内科	救急科	外科	循環器内科	救急科	外科	循環器内科	救急科	外科
2年次	循環器内科	消化器内科	産婦人科	小児科	循環器内科	救急科	精神科	循環器内科	産婦人科	循環器内科	救急科	外科



# 研修医生活 まるわかり

ON



## 院内 オリエンテーション

病院のシステムや処方、  
点滴、採血、問診など基  
本を学びます。



## 研修スタート



## 岩手県合同 オリエンテーション

1泊2日、岩手県の  
1年次研修医が一堂に介して  
行われるオリエンテーション。



4月

1年次  
副当直開始

6月

5月

## 病院説明会

全国で行われる病院説明会に参加。  
学生のみなさんぜひ見学にきてください！



説明会後、  
美味しいお店に行くことも！

## 学会発表デビュー

8月末の岩手県県病医学会等、  
1年次研修医にも発表のチャンスが回ってきます。



プロ面談  
(随時)

1年次  
救外一人デビュー

9月

夏休み5日間  
(6月～10月までに取得)

8月

## 2年次スキル アップセミナー

2年次の秋、1年次4月に集まった  
岩手県の同期研修医と、1年半ぶりの再開！  
OSCEやワークショップ、夕食の  
情報交換会で自分たちの成長を  
感じます。



7月

## 一関夏祭り(8月)

花火大会やくるくる踊りで、  
一関の夏を満喫！



4月

1年次  
副当直開始

## いわてチカガイドコーナー

by iwai hospital junior resident

### 世界遺産 平泉



光輝く中尊寺金色堂に遡された後、  
日本最古の浄土庭園毛越寺を巡る  
コースがオススメ。

◆アクセス：当院から車で約17分

### “あまちゃん”的三陸



朝の連続テレビ小説で一躍有名になった  
三陸も近いです。ぜひ一度、新鮮な海の  
幸を堪能しに来てください。

◆アクセス：当院から車で約40分（一番近い海）

## さよなら講演会

3月。2年間の研修修了時に行う卒業  
プレゼン。笑いあり、涙あり…！？



## 研修修了証授与式

3月



1月

12月

11月

学会参加  
(随時)

10月

## いものこ会in磐井川

10月。河原でみんなで芋の子汁を作って、食べて、飲んで。季節行事はいいですね～。



## 同期呑み(随時開催)

一番大切な時間かも!?  
何かあったら同期呑み。何も無くても同期呑み。大切な仲間と切磋琢磨しませんか。



## 新年会

恒例の余興大会で盛り上がります！よい1年になりますように。



2月

## 講習会でスキルアップ

BLS,PTLS,ACLSなど多彩な講習会に積極参加。普段違う科を回っている同期と集まれる貴重な時間でもあるんです。



## スキーリング

スキーコース！  
安比高原へ行きました。



OFF



# 年間スケジュール ON and OFF

## 名湯の宝庫



一関市内だけでも十数件の温泉がある。2年間で岩手県内・宮城県北の名湯を回り倒すのも乙。

◆アクセス：当院より車で18分（一番近いところ）

## みんなでカンパイ！



一関市が誇る、国内最大級の地ビールフェス！8月末頃、全国各地の地ビールを求め、全国からファンが集います。地元食材を使用したおいしいお料理をつまみに、いろいろなビールを飲み比べてください。

## 一年中“美味しい町”



もち、牛肉、わんこそば、冷麺、うに、いくら、さんま、米、りんご…。美味しいものがたくさんある。見学日の夜は美味しいものを食べに行こう。

# 研修医かんなのDataでみる研修医生活

※2年間を磐井病院で過ごした個人の感想・意見です

## ～手術編～

手術：Operator 28件、Assistant 150件以上（外科）

Lap虫垂切除 1

鼠径ヘルニア Direct Kugel 1 / Mesh-plug 2 / Liechtenstein 1

乳房部分切除術 2

Lap胆囊摘出 1 (以上磐井外科)

CVポート留置/抜去 8(外科/産婦人科など)

帝王切開術 4 (産婦人科)

経尿道的膀胱結石破碎術 TUVL 1 (泌尿器科)

アネイル挿入術 2 (整形外科)

一部operator: 口蓋扁桃摘出術, Lap 子宮全摘術, TUL他



## ～学会編～

参加4、☆発表2

☆岩手県立病院学会（循環器内科）

「左冠動脈主幹部の急性心筋梗塞による心原性ショック患者にV-A ECMOを導入し離脱に至った1例」

胃癌学会（消化器内科）

内視鏡外科学会（外科）

☆国際移植学会 TTS2024（東北大 外科）

「Effects of cryopreserved human amniotic membrane on ischemic wounds」



## ～private編～

・コントラバス演奏: 5 (うち病院関係3)

・温泉: 約38ヶ所満喫 (岩手約30, 宮城6, 山形2)

・スキー: In 16回, 7スキー場, 総距離337km, 最高時速66.7km

・一関ビール祭り 参加: 5/6日



～かんなの仕事帰り温泉コラム～ ※最新情報は医療ホームページ等でご確認ください。

<定時上がりで行きたい>

・たかもりの湯 (築館) 17時以降 ¥530

・永岡温泉 夢の湯(金ヶ崎) ¥600

<19時前に上がれたら行きたい>

・金成温泉 延年閣 最終20:30 ¥600 アメニティ持参推奨

・前沢温泉 舞鶴の湯 最終20:00 18時以降 ¥600 内湯のみ

・平泉温泉 悠久の湯 最終20:30 19時以降 ¥300 内湯のみ

アメニティ持参推奨 コスパ◎

<朝帰りでも仕事伸びても行ける>

・桃の湯 5時～最終22時 ¥850



～かんなの休日おすすめ観光コラム～ 一関周辺編

☆居酒屋 居酒屋こまつ(一関), つるかめ食堂(水沢)

☆絶景 巍美渓 ※ツアーガルが来る午前10時前に行くことを推薦

猊鼻渓 ※近くの幽玄洞も行くと喜ばれる



# ANSWER by Iwai hospital residents

磐井病院の研修医と卒業した先輩たちが  
リアルな現状をお伝えします！

## Q: 救急・外来・病棟を経験できるメリットは？

A: 病棟管理はどの病院でも当たり前ですが、当院の初期研修では外来診療研修も充実しています。新患患者問診・救急対応などを経験できる病院は多いですが、当院ではその後の検査計画・再来外来も担当できる診療科があります。再来までフォローを任せてももらえる病院はそこまで多くない気がします。診察室の前に自分のネームプレートが掲げられ、かなり緊張感はありますが、医者としての充実感をもって診療できます。一方で、外来研修は不足している研修病院が多く、3年次になりいきなり外来を任せられ困惑しながら診療にあたっているという話を良く聞きます。当院は初期研修時からその基礎を学ぶことが出来る貴重な病院だと思います。病棟も外来も検査・治療もあり、救急外来にも呼ばれ、1日病院を駆け回ることになりますが、充実した毎日です。（後期研修医S）

## Q: 救急科強化の具体策は？

A: 当院には救急科があり、現在上級医には循環器内科、呼吸器内科、麻酔科の先生方がおり肺炎や心不全といった内科疾患の管理を学べることができます。薬物中毒などの全身管理も学ぶことができます。病態不明の症例なども救急医療科で診ているため多彩な症例が経験できます。基本的に研修医が初診にあたり、上級医に治療方針について相談する体制なので実際に症例を体験しつつ学べます。研修医の人数も多くないので基本的には研修医が1人で回ることが多く、自分が診ざるえない状況の事が多いので体で覚えることができます。救急医療科を回ると普段の当直にも自信がつくと思います。（2年次研修医N）

A: 1年次研修医の始めの頃は、患者さんを前に何をすればよいかわからず困ることも多かったです。各科をローテートする毎に1つ1つの病気に対する初療を学び、日当直へ還元してきました。当直と各科ローテートの双方向のフィードバックにより、初療が身につき、その後の流れも理解することができるように思います。当直後はそのままにせず、その後の経過を電子カルテで追うと、上級医の治療方針もわかり勉強になります。また、医局でも先生方が身近にいるので、振り返って気になることがあれば聞くようにしています。また、毎週月曜に行っている救急症例検討会では気になる症例について討論します。お互いに意見を交わしながら、上級医の先生方からのアドバイスも頂き自信がついていきます。（2年次研修医T）

A: 1年目ですが研修を始めて感じたことは、救急力をあげるためにには、まずは多くの患者を診ること。そして、診た患者をフォローしていくことだと思います。救急の現場では時間的な制約もあり初期対応後、入院先の科が決まると、その後どうなったかわからないことが多いです。フォローしていくことで、初期対応時の答え合わせができます。また、当院は上級医もフレンクな先生が多いので、医局等で合った際に、救急で診た患者のアドバイスをしてくれる先生方が多いのが特徴です。（1年次研修医H）

A: まず最初に、一般外来、病棟に研修医があまり関わらない病院もたくさんあります。その中で当院では新患外来等も積極的に研修医に経験させてくれます。一般外来では最低限のコミュニケーション問診スキルをとことん養うことができます。また、病棟では担当医として、方針の考査（必要な検査から治療まで）まで責任を持って行うことができます。各科の当番では夜間、病棟で起きた問題に対して研修医が一番に呼ばれ、頭を悩ませながら対処します。もちろんバックには上級の先生が控えているので、いつでも気軽に相談しながら進めることができます。病棟管理は将来どの専門家に進んでも必要となるスキルの一つです。バックアップがしっかりついている今だからこそ、しっかり身につけるチャンスだと思います。（2年次研修医M）

## Q: スキルアップって？

A: 研修医になりたての時は、どんな患者さんに向かっても何をしてよいかわからないと思います。冷や汗をかきながら持っている知識をフル活用して考え、できるところまで自分で診ていく。上級の先生にフィードバックしてもらい学び、次へ生かしていくという積み重ねが力になっていると2年目に入り実感しています。そういった点において、やはり、いい意味で真っ白な初期研修のうちに体を動かして経験させてくれる当院の研修は魅力的だと思います。まずは見学にきてください。（2年次研修医S）

## Q: 交通アクセスが良いメリットは？

A: 磐井病院のある一関市には新幹線も高速道路も通っていて、病院は駅からもインターからも近く、とても田舎にいるような感じがしません。ある休日、東京のイベントに行く予定でしたが寝坊して「ごめん！ 今起きた！」と東京の友達にラインを送った2時間後に、東京の会場に姿を見せた時は驚かれました（笑）。東京まで最速1時間58分！ また、東北は各地に名勝地が点在していますが、高速道路を使えば早く楽しい旅の始まりです。今年の春は弘前城の桜祭りと福島の見春滝桜を見に行ってきました！ それから、磐井病院の駐車場がタダっていうところもうれしいところです。（2年次研修医I）

## Q: 忙しさって？

A: 意見に個人差はあると思いますが、初期研修2年間の忙しさは、その後の医師人生の中でもかなり重要な位置付けになると思います。何でも教えてもらえる、何でも気軽に聞けるのは初期研修の特権だと思いますし、その特権を持つ間にどれだけの経験をしたかが、その後に大きく関わってくるように思います。専門を決めて進んでしまうと経験も偏りますし、専門以外の知識経験を積むのはこの2年間だけになるのかなと。もちろん楽な方がいいとか、休みがたくさんもらえるところがいいとか最初は誰もが思うと思いますが、長い目で見れば、最初の2年間くらい忙しく働くことがその後にも繋がるのかもと、初期研修を終えてみて思います。もちろん休日も考慮して与えてもらいますし、働く日は最前線で働くことができます。自分の今後のためにも、いい意味で忙しく働ける研修病院を選んで良かったと思います。（後期研修医K）

# 岩手県立磐井病院 臨床研修医募集要項

1 募集定員 8名

2 応募資格

医師国家試験受験予定者で、マッチングに参加予定の方

3 出願方法・必要書類

病院ホームページに記載。<https://iway-hp.com/>

4 診療科

救急科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、  
小児・新生児科、外科、産婦人科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、  
泌尿器科、形成外科、画像診断科、放射線治療科、耳鼻いんこう科、  
緩和医療科、眼科、皮膚科

【臨床研修について】



【施設見学申込方法】



## 病院見学隨時受付中

- 希望する診療科で、研修医が検査や手術等に参加している現場を直に見学することができます。
- 病院ホームページ内病院見学申込メールフォームからお申込みください。  
<https://iway-hp.com/rinsho/kengaku/> または 下記QRコード から。  
検索サイトで『磐井病院 見学』と検索してもすぐ出るかと思います。
- 往復の旅費を支給いたします。
- 岩手県イーハトーヴ臨床研修病院群の複数病院を一度に見学できるツアーを組むことも可能です。  
(公共交通機関利用)



TRAFFIC  
ACCESS



お車をご利用の場合  
東北自動車道一ノ関ICから約7km



JRをご利用の場合  
東北本線及び東北新幹線一ノ関駅下車  
西口より直通バスあり  
【東京駅→一ノ関駅】約1時間58分(最速)  
【盛岡駅→一ノ関駅】約40分  
【仙台駅→一ノ関駅】約30分



飛行機ご利用の場合  
【札幌→花巻】 約1時間  
【大阪→仙台】 約1時間20分  
【名古屋→仙台】 約1時間  
【福岡→仙台】 約1時間50分



【見学について】



【施設見学申込方法】



【連絡先】



岩手県立磐井病院

Iwate Prefectural Iway Hospital

臨床研修センター

【連絡先】 どんなことでも気軽にお問い合わせください！

〒029-1092 岩手県一ノ関市狐禅寺字大平17番地

TEL 0191-23-3452 FAX:0191-23-9691 E-mail iwayhp@yahoo.co.jp